



令和 4年 3月 3日
港湾局 海洋・環境課

令和3年度

「第3回 地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」開催 ～ブルーカーボン生態系の活用に向けた取組の推進～

国土交通省港湾局では脱炭素社会実現への貢献を目指し、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取組を進める中、CO₂吸収源の選択肢として注目される、ブルーカーボン生態系[※]の活用に向け具体的な検討を進めるため、今年度第3回目となる「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を開催します。

※ブルーカーボンとは藻場や干潟などの海洋生態系に蓄積される炭素のことであり、そうした蓄積作用を有する生態系を「ブルーカーボン生態系」と言います。

国土交通省港湾局では、CO₂吸収源としてブルーカーボンを活用していく具体的な検討を進めるため、令和元年に本検討会を設置しました。今年度第3回目となる検討会においては、第1回、第2回の検討結果を踏まえつつ、下記の主な議題につき検討を行います。

記

1. 日 時： 令和4年3月7日（月）15:00～17:00
2. 場 所： 航空会館（東京都港区新橋 1-18-1 5F 501・502会議室）
3. 主な議題：
 - ・ 全国の港湾区域におけるCO₂吸収量の試算について
 - ・ ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度^{※1}の試行について
 - ・ ブルーカーボンの普及啓発について 等

※1：藻場の保全活動等の実施により創出されたCO₂吸収量をクレジットとして認証し、CO₂削減を図る企業・団体等とクレジット取引を行う制度

4. 委 員： 別紙参照
5. そ の 他： 検討会は傍聴不可。ただし、カメラ撮りは冒頭のみ可。
検討会終了後、同会場内で記者ブリーフィングを行う予定。
※取材を希望される方は、3月4日（金）12時までに、
下記の渡邊・栗田メールアドレスへご連絡下さい。

【お問合せ先】

港湾局 海洋・環境課

【電話：03-5253-8685（直通）、03-5253-8111（内線 46654、46682）】

渡邊：watanabe-h22i@mlit.go.jp、

栗田：kurita-k89ff@mlit.go.jp

地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会

委 員 名 簿

〔敬称略・順不同〕

[委 員]

木場 弘子	フリーキャスター・千葉大学 客員教授
木村 尚	NPO法人海辺つくり研究会
桑江 朝比呂	海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長
佐々木 淳	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
佐藤 淳	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員
中村 圭吾	土木研究所つくば中央研究所水環境研究グループ 上席研究員
堀 正和	水産研究・教育機構水産資源研究所 水産資源研究センター 社会・生態システム部 沿岸生態系暖流域グループ グループ長

[行政関係者]

農林水産省 農村振興局 整備部 防災課
水産庁 増殖推進部 研究指導課
水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課
国土交通省 総合政策局 環境政策課
国土交通省 水管理・国土保全局 保全課海岸室
国土交通省 港湾局 海岸・防災課
環境省 地球環境局 総務課 脱イノベーション研究調査室
環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室
環境省 自然環境局生物多様性センター
経済産業省 産業技術環境局 環境経済課

[オブザーバー]

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合
海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所沿岸環境研究グループ
横浜市温暖化対策統括本部
福岡市港湾空港局
一般財団法人 港湾空港総合技術センター

[事 務 局]

国土交通省 港湾局 海洋・環境課